

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地元の世界的アーティスト松澤宥 生誕100周年に向けた「下諏訪での99年祭」事業
事業主体 (連絡先)	スワニズム 〒393-0052 長野県諏訪郡下諏訪町上久保 5843 (事務局長宅)
事業区分	教育、文化の振興に関する事業、特色のある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,438,837円 (うち支援金: 1,079,000円)

事業内容

生誕100周年を迎えた諏訪に生きた世界的芸術家松澤宥。地元での知名度を高め、地域内外の様々な方と彼の作品、生き方、背景となった諏訪の文化を共有し「諏訪でクリエイティブに生きる」可能性を問い、同時に諏訪圏外の方が諏訪を訪れるきっかけとすることを目指して展覧会、イベントを実施。さらに松澤の残した文化資源の恒久的な展示場所を下諏訪町内に設立するための基盤づくりも目指した。

1. 生誕100年記念ウェブサイト立ち上げ・運営：10月～現在
2. 参加型イベント「プサイ郵便局ワークショップ」：11月3日下諏訪御田町にて 200組以上参加
3. まちなか展覧会：1月29日～3月21日下諏訪町、諏訪市の計10箇所にて 推定のべ2,000人あまりが参加
4. 2回のトークイベント：3月5日、13日 諏訪湖博物館 計60名参加 (コロナのため参加者限定)

事業効果

- ① 「100年記念サイト」は現在までに6,000人余りのユーザーがアクセス。100年祭の事前イベントとなった11月の「プサイ郵便局ワークショップ」は200組以上と過去の10倍以上の参加者があった。有力地方紙、ウェブメディア、ケーブルテレビ、ラジオなどメディア露出が把握しているだけで36件あり、下諏訪商工会議所の協力により下諏訪町内にフラッグが設置され、ポスター・パンフレットも街中に数多く設置された。結果として「まちなか展覧会」は当初5箇所ほどの予定が10店舗・施設が参加、期間中それぞれ百数十人～数百人の通常以外の来訪者があり顧客層も拡大。関連事業となるが諏訪湖博物館でも大規模な展示が実現した。(45日間で1178人が入場) 会場の全ての店舗・施設からはコロナ禍にも関わらず店舗・施設と街の活性化に繋がったとの声。会場でのアンケートや生声にも「こんな面白い人が諏訪にいたとは知らなかった。」という声が多く寄せられ、確実に知名・理解の向上があったと確信している。



【プサイ郵便局ワークショップ】

【目標・ねらい】

- ① 松澤宥の地元での知名、理解向上
- ② 地域外の方が諏訪に興味を持ち、訪れるきっかけ作り
- ③ 恒久的な展示場所を下諏訪町に設立するための基盤づくり

※自己評価 **【A】**

【理由】

- ・従来あまり活用されていなかった文化資産を顕在化させ、街の店舗や商工会議所を巻き込んで「街の話題」としたこと。
- ・コロナ禍にもかかわらず、のべ数千の人を動かし、街の活性化に繋がったこと。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ② 展覧会来訪者の2割ほどが諏訪以外からの方と想定され、東京・関西をはじめ全国から来訪者があり、下諏訪町や諏訪の魅力を知り始めて/改めて知ったという方達も。美術関係者を中心に著名な方や発信力を持つ方（インフルエンサー）が数多く訪れ、今後の情報の広がりも期待できる。
- ③ 関連展示を実施した諏訪湖博物館からは、大きな集客力、従来にない若い来訪者があったとのお話をいただき、今後の松澤作品や資料の展示について検討する可能性を示唆いただいた。

今後の取り組み

- ・来年度以降も、松澤宥の資産を用いた街の活性化に取り組む。また、松澤宥に限らず、地域の方を巻き込んで文化資産を用いた街の活性化に取り組んでいきたい。
- ・今後も松澤財団と協力し下諏訪町、諏訪湖博物館等と松澤作品、資料の常設展示について提案、相談をしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある